

昨年から祝日となった「山の日」の11日、摩耶山や六甲山を中心に、神戸市内で山の魅力を満喫する多彩なアウトドアイベントが開かれた。天候にも恵まれ、多くの家族連れや登山客でにぎわった。(社会面参照)

「山の日」に催し

家族連れら 摩耶山満喫

水辺遊び、木陰で読み聞かせも

摩耶山中にある穂高湖では、水際をビーチにしたイベント「海、山へ行く」があった。長さ3層のパドルボード体験や遊泳、ザリガニ釣りなど、訪れた人たちは童心に帰って、思い思いに水辺を楽しんだ。パドルボードに挑戦した多聞台小2年村上雄飛君(7)は「垂直区間は涼しくて気持ちいい。海と山を一度に楽しめた気分」と笑顔だった。

木々に囲まれたほとりでは、絵本の読み聞かせもあり、読み手のコミカルな朗読に親子の笑い声が響いた。摩耶山再生の会の慈恵一事務局長(51)は「夜景だけでなく夕涼みにもぴつ

たり。灘らしいイベントで、山の日を定着させ、盛り上げたい」と話していた。また、アウトドアイベントが開かれた市立森林植物園(北区山田町)では、神戸市消防局航空機動隊が山岳事故を想定した救助訓練も行った。ヘリがホバリングして人が収容する様子、周辺にいたハイカー

らが見守った。市消防局によると、登山ブームを背景に、市内の山岳事故は10年間で約3倍に増加。夏は暑さで疲れやすくなり、熱中症や転倒が多という。北消防署の大槻忠義消防防災課長は「体調管理と万全な準備の上で山を楽しんでほしい」と呼び掛けた。(井上 駿)



パドルボード体験を楽しむ女兒



絵本の読み聞かせを楽しむ親子連れら。いずれも灘区六甲山町の穂高湖